

中国の新聞の読み方

山本賢二 著

人民日报

RENMIN RIBAO

大学書林

中国の新聞の読み方

山本賢二 著



東京 大 学 書 林 発行

目録進呈 落丁本・乱丁本はお取替えいたします。

昭和62年12月20日 © 第1版 発行

不
許
複
製



版
権
所
有

中国の新聞の読み方

著 者 山 本 賢 二

発 行 者 佐 藤 政 人

発 行 所

株
式
会
社

大 学 書 林

東京都文京区小石川4丁目7の4
振替口座 東京 2-43740番
電 話 東京 (03)812-6281～3番
郵便番号 112

写研・横山印刷・牧製本

は し が き

周知のように、人民日報をはじめとする中華人民共和国の新聞は、中国共産党の路線、方針、政策を忠実に反映するよう求められている。ある問題について、たとえ党内に異なる意見があったとしても、党中央がひとたび一定の決定を下せば、その決定の方向に沿う新聞内容になる。これが党内民主集中制の言論紀律である。それがため、中国の新聞は中華人民共和国建国以来の度重なる政治環境の変化を如実に反映してきた。中国の新聞は、基本的には中国共産党中央の多数派の意見を代弁するものであり、その多数派の世論をつくり出すための道具なのである。しかしながら、プロレタリア文化大革命初期や「真理の基準キャンペーン」のように少数派が多数派に取って代わるための世論工作に新聞を効果的に利用している。つまり、中国の新聞はそれを支配しようとする勢力によって常に政治的に利用される可能性があると言えるのである。

わたしたちがこのような中国の新聞を読む時に必要なのは中国の「真実」に近づこうとする姿勢ではないかと思う。新聞は体制の違いにかかわらず、一般に「事実」を伝えることを主要任務としている。しかし、その「事実」は、中国の場合は党中央多数派の立場からの「事実」であり、日本の場合は私企業としての新聞社の編集方針に基づく「事実」なのであり、いずれも送り手の主観的「事実」なのである。そのため、わたしたちがただ新聞の提供する「事実」のみに頼って、「真実」に近づこうとすれば、当然偏向が生まれてくる。新聞というのは、わたしたちが「真実」に近づこうとする時に、いくらかの「事実」を安価に提供してくれる情報源の一つに過ぎず、それ以上でもそれ以下でもない。

中国には、中国共産党が言う「明るい面」も「事実」として存在するであろうし、劉賓雁の言う「暗い面」の「事実」もあるだろう。言うまでもなく、中国の新聞は中国共産党の言う「明るい面」を多く伝えているが、これは中国共産党が「事実」として認めた「事実」であって、わたしたちが中国の「真実」に近づくための「事実」のすべてではない。とはいえ、それが中国共産党の主観的「事実」にせよ、中国の新聞がほかの情報源よりも中国の「事実」を多く提供していることも否定できな

い。要は読者が中国の「真実」に近づくために、このような中国の新聞をどのように読むかにある。「真実」の中国像をつくるのはあくまでも読者自身であって、中国の新聞でも本書でもない。本書はただ著者が中国の新聞を読むために必要であると考えた知識を提供しようと試みただけである。

本書は上述した著者の考え方にに基づき、次の四編から構成されている。

- I 常識編（中国、中国共産党、中国のマスコミに関する基礎知識）
- II 文章編（中国の新聞に掲載される文章の諸相と例文）
- III 内容編（15のトピックを通じての中国の新聞記事の行間読解）
- IV 対訳編（30の歴史に残る重大ニュースの対訳）

本書で留意したことは、できるだけ中国語文を読むことによって、中国の新聞を読むための総合的知識を提供しようとした点である。そのため、読者はI～IV編を読むことを通じて、中国の新聞を読むための目が養えると同時に、中国語力も身につくはずである。

日本と中国の相互理解は、日本人の側から言えば、中国を正しく認識すること、すなわち中国の「真実」に近づくことを基盤にしなければならないと思う。読者が中国の新聞のなかで、中国の「真実」に近づく「事実」をより多く見つけることに、本書がいくらかでも貢献できるとすれば、著者の喜びとするところである。

末筆ながら、少し異色の本書の出版を快諾された大学書林に感謝するとともに、語学書籍出版事業にその生涯を捧げ1987年9月20日に逝去された故佐藤義人社主の業績をここに賛えるものである。

著者
1987年秋

目 次

はしがき	i
I 常識編	1
1 現在の中国	1
(1) 中国共産党	1
(2) 中華人民共和国	3
(3) 中国共産党の中国社会分析	4
(4) 中国共産党の現段階の任務	6
2 中国のマスコミ	7
(1) 中国共産党の党内言論紀律	8
(2) 中華人民共和国の言論規定	10
(3) 中国のマスコミ体系	12
(4) 新聞出版署	14
(5) 新華通信社	16
①概要	16
②機構	16
③機能	17
④中国共産党の指導	19
(6) 中国の新聞	19
(7) 中国の新聞読者調査	25
①接触メディアの%	25
②重要ニュースの情報源	26
③閲読新聞の順位	26
④新聞の信頼度	27
(8) 中国の新聞社の機構と党の指導	27
3 中国社会主義新聞理論	30
(1) 新聞事業の三原則	31
①党派性	31
②大衆性	32
③指導性	33

目 次

(2) 新聞の四性質	34
①新聞の定義	34
②新聞の属性	36
③新聞の職能	37
④新聞の任務	39
4 中国共産党の新聞政策—胡耀邦「党の新聞工作について」	41
5 中国の新聞記者—劉賓雁	79
II 文章編	89
1 現代中国語文の諸相	89
2 新聞の文章の特色	95
3 ニュース文	96
(1) 一般型ニュース	97
(2) 重点型ニュース	99
(3) 混合型ニュース	103
(4) 特殊型ニュース	105
(5) 内容別ニュース例文	107
①経 済	107
②工 業	111
③農 業	114
④軍 事	117
⑤科学技術	119
⑥貿 易	123
⑦人 口	125
⑧教 育	129
⑨法 律	131
⑩文 学	133
⑪学 術	135
⑫文 化	139
⑬社 会	141
⑭自 然	143
⑮生 活	145
⑯スポーツ	148

目 次

⑰保健	151
⑱少数民族	153
4 論説文	155
(1) コラム	156
(2) 短評	159
(3) 論文	163
(4) 社説	170
①全般的社説	170
②専門的社説	174
5 投書文	186
(1) ニュースとしての投書	187
(2) 特集欄の投書	190
①投稿規定	190
②陳香梅女士の投書	192
③不合理・不正に対する投書	195
④呼びかけの投書	200
6 広告文	202
(1) 新聞社の「お知らせ」	202
(2) 製品・商品	204
(3) 新聞・雑誌	205
(4) 芸能・スポーツ	207
(5) 展覧・展示	209
(6) 社会サービス	211
(7) 地方紙の広告	214
III 内容編	217
1 蔣介石の死去	217
2 天安門事件	218
3 唐山大地震	232
4 「真理の基準」キャンペーン	235
5 「渤海二号」石油リグの沈没	240
6 詩人孫静軒の自己批判	243
7 胡耀邦総書記の日本訪問	260

目 次

8	中曽根首相の中国訪問	282
9	レーガン大統領の中国訪問	305
10	北京下放青年の上訴	307
11	「中国之春」の人民日報告訴	313
12	チャレンジャーの爆発	317
13	フィリピンの政変	319
14	中華航空貨物機の亡命	323
15	中国学生民主化要求デモ	329
IV	対訳編	335
1	中華人民共和国建国	335
2	毛沢東主席のモスクワ訪問	337
3	原爆実験	344
4	プロレタリア文化大革命	350
5	水爆実験	357
6	珍宝島中ソ衝突事件	362
7	人工衛星打ち上げ	365
8	中国の国連復帰	368
9	日中国交回復	371
10	毛沢東主席の死去	376
11	日中平和友好条約	383
12	中国共産党第十一期三中全会	386
13	米中国交回復	390
14	中越戦争	395
15	魏京生裁判	396
16	ソ連のアフガニスタン介入	401
17	セントヘレンズ火山爆発	403
18	第三次国共合作の呼びかけ	404
19	サダト大統領暗殺	407
20	フォークランド紛争	408
21	ソ連軍の大韓航空機撃墜	409
22	スーパーコンピューター「銀河」の開発	411
23	「四人組」裁判	414

目 次

24	香港返還協定	418
25	日本航空ジャンボ機墜落	423
26	ソ連共産党第二十七回全国代表大会	424
27	ハレー彗星の地球接近	427
28	チェルノブイリ原発事故	429
29	天皇陛下在位六十周年	429
30	胡耀邦総書記の辞任	431
(付)	出版物数字用法に関する試行規定	434



蘇 州

I 常識編

1 現在の中国

中国の新聞を読む前に現在の中国について最も基礎的な知識を備える必要がある。それは、中国共産党がどのような目的をもった政党であって、中華人民共和国がどのような性格の政体であり、中国共産党が中国社会をどのように分析し、現段階の任務をどのように規定しているかを知ることである。これらの基礎知識は中国の新聞を読むために不可欠であり、もし読者にこの知識がなければ、語学的解釈の段階から前に進むことができないであろう。それゆえ、次の引用文を読むことで、まず現在の中国についての基礎知識を身につけよう。

(1) 中国共産党

中国共产党是中国工人阶级的先锋队，是中国各族人民利益的忠实代表，是中国社会主义事业的领导核心。它诞生于1921年7月。7月1日是党的成立纪念日。中国共产党以马克思列宁主义、毛泽东思想作为自己的行动指南，最终目标是实现共产主义的社会制度。中国共产党成立以来，领导全国各族人民，经过长期的反对帝国主义、封建主义、官僚资本主义的革命斗争，取得了新民主主义革命的胜利，1949年10月1日建立了人民民主专政的中华人民共和国；并且在建国以后，进行了社会主义改造，完成了从新民主主义到社会主义的过渡，确立了社会主义制度，发展了社会主义的经济、政治和文化。社会主义制度的建立，是我国历史上最深刻最伟大的社会变革，是我国今后一切进步和发展的基础。没有中国共产党就没有新中国，也就不会有现代化的社会主义中国。中国共产党经历了多年的艰苦曲折斗争，实践证明毛泽东思想是指导中国革命取得胜利的党的指导思想。党的十二大指出，马克思主义的普遍真理同中国的具体实际结合起来，走自己的道路，建设有中国特色的社会主义，这就是党总结长期历史经验得出的基本结论。从党的十一届三中全会以来，党在经济、政治、文化等各方面工作中逐步纠正“左”的错误，恢复了正确的政策，并且研究新情况、新经验，制定了一系列新的正确政策，工作着重点已经转移到社会主

又现代化建设上来。到1983年10月党的十二届二中全会时，中国共产党已有四千万党员。在马克思列宁主义、毛泽东思想的伟大旗帜下，全党、全军、全国各族人民正紧密地团结在党中央周围，肩负起历史所赋予的巨大责任，为把我国逐步建设成为现代化的、高度民主的、高度文明的社会主义强国而奋斗。

(《新闻工作手册》 新华出版社 1985. 8 p. 1)

日訳 中国共産党は中国労働者階級の前衛隊であり、中国各民族人民の利益の忠実な代表であり、中国社会主义事業の指導の中核である。それは1921年7月に誕生した。7月1日は党の成立記念日になる。中国共産党はマルクス・レーニン主義、毛沢東思想を自党の行動指針としており、最終目標は共産主義の社会制度を実現することである。中国共産党は成立以来、全国の各民族人民を指導し、帝国主義、封建主義、官僚資本主義に反対する長期にわたる革命闘争を経て、新民主主義革命の勝利を勝ち取り、1949年10月1日に人民民主独裁の中華人民共和国を打ち立て、しかも建国後、社会主義的改造を進め、新民主主義から社会主義への移行を達成し、社会主義制度を確立し、社会主義の経済、政治および文化を發展させた。社会主義制度の樹立はわが国の歴史における最も深遠な、最も偉大な社会変革であり、わが国の今後における進歩と發展のすべての基盤である。中国共産党が無ければ新中国は無く、現代化された社会主義の中国も生まれない。中国共産党は多年にわたる困難で曲りくねった闘争を経験し、その実践は毛沢東思想が中国革命を勝利に導いた党の指導的思想であることを証明している。党の十二回大会は、マルクス主義の普遍的真理を中国の具体的現実と結びつけ、自らの道を歩み、中国の特色を備えた社会主義を建設することこそが長期にわたる歴史的経験を総括して得た党の基本的結論であると指摘している。党の十一期三中全会以来、党は経済、政治、文化などの諸活動のなかで、徐々に「左」の誤りを正し、正しい政策を回復するとともに、あわせて新しい状況、新しい経験を研究し、一連の新たな正しい政策を制定し、活動の重点はすでに社会主義の現代化建設に移行されている。1983年10月の党の十二期二中全会までで、中国共産党はすでに党员四千万を擁している。マルクス・レーニン主義、毛沢東思想の偉大な旗じるしのもと、全党、全軍、全国の各民族人民はまさに党中央のまわりにしっかりと結集し、歴史が与えた大きな責任を担

い、わが国を徐々に現代化された、高度の民主、高度の文明を備えた社会主義の強国に築き上げるために奮闘している。

上掲の引用文のなかから、中国共産党の中国における中核的位置が理解できたであろう。

(2) 中華人民共和国

中华人民共和国是工人阶级领导的、以工农联盟为基础的人民民主专政的社会主义国家。社会主义制度是中华人民共和国的根本制度。人民民主专政是中华人民共和国的国体。它确切地反映了我国现阶段政权的性质和特点，体现了社会各阶级在国家中的地位。在建国以后的相当一段时间内实行人民民主专政，在民族资产阶级参加政权的这种特殊政治形式下，继续完成新民主主义革命任务，对生产资料私有制进行社会主义改造，消灭了资本主义经济，资产阶级作为一个阶级已被消灭。这是中国共产党领导人民革命的伟大创举。随着社会主义经济制度的建立，专政的对象已经不是作为整体的反动阶级，而是占人口极少数的反革命分子和各种严重犯罪分子。1982年新宪法规定的人民民主专政，反映了我国现阶段政权更加广泛的民主性质，它不仅包括工人阶级领导的、以工农联盟（包括工人、农民、知识分子三支基本社会力量）为基础的广大劳动者，而且还包括一切拥护社会主义的爱国者和拥护祖国统一的爱国者。国家的主要任务是保卫社会主义制度，领导和组织社会主义经济建设。中华人民共和国的一切权力属于人民。对人民实行民主，对反对派实行专政的人民民主专政，对于领导和动员全国各族人民，巩固和发展安定团结、生动活泼的政治局面，保证我国实现本世纪末社会主义现代化建设的战略目标，具有无比重大的意义。

（《新闻工作手册》 新华出版社 1985.8 p. 18,19）

目 訳 中華人民共和国は労働者階級の指導する、労農同盟を基礎とする人民民主独裁の社会主義国家である。社会主義制度は中華人民共和国の根本制度である。人民民主独裁は中華人民共和国の国体である。これは的確にわが国の現段階における政権の性質と特長を反映し、国家のなかにおける社会の諸階級の地位を具現している。建国以後の一定期間内において人民民主独

裁を実施し、民族ブルジョアジーが政権に加わるというような特殊な政治形態のもとで、引き続き新民主主義革命の任務を達成し、生産手段の私有制に対し、社会主義的改造を進め、資本主義経済を消滅させ、ブルジョア階級は一つの階級としてはすでに消滅させられた。これは中国共産党の人民革命を導いた偉大な創舉である。社会主義経済制度の樹立に伴って、独裁の対象はすでにまとまりとしての反動階級ではなくなり、人口の極めて少数を占める反革命分子とさまざまな重罪者になっている。1982年の新憲法が規定する人民民主独裁はわが国の現段階における政権のより広はんになった民主的性格を反映したものであり、それには労働者階級の指導する、労働同盟（労働者、農民、知識分子という三つの基本的な社会勢力を含む）を基礎とした広はんな労働者を含むばかりではなく、すべての社会主義を擁護する愛国者と祖国の統一を擁護する愛国者をも含んでいる。国家の主要な任務は社会主義制度を守り、社会主義の経済建設を指導、組織することである。中華人民共和国のすべての権力は人民のものである。人民に対しては民主を実行し、反対派に対しては独裁を実行する人民民主独裁は、全国の各民族人民を指導し、動員し、安定と団結、生き生きとした政治的局面を打ち固め、発展させ、わが国の今世紀末までに社会主義の現代化建設を行うという戦略目標を実現することを保障するうえで、このうえない重大な意義をもっている。

上掲文より、中国共産党が打ち立てた人民民主独裁体制の中華人民共和国の政体の性格と国家の方向の概要をつかめたであろう。

(3) 中国共産党の中国社会分析

在剥削阶级作为阶级消灭以后，我国社会存在的矛盾大多数不具有阶级斗争的性质，阶级斗争已经不再是我国社会的主要矛盾。党的十一届六中全会的决议指出：“在社会主义改造基本完成以后，我国所要解决的主要矛盾，是人民日益增长的物质文化需要同落后的社会生产之间的矛盾。”我们必须十分谨慎地区别和处理敌我矛盾和人民内部矛盾，防止重犯阶级斗争扩大化的错误，以维护社会的安定团结的政治局面。但是，阶级斗争还将在我国社会的一定范围内长期存在，并且在某种条件下还有可能激化。这不但因为历史上的剥削制度和剥削阶级在各方面的遗毒不可能在短时间内清除干净，而且因为我们祖国的统一大业还没有最后完成，我们还处在复

雑的国际环境中，资本主义势力以及某些敌视我国的社会主义事业的势力还会对我国进行侵蚀和破坏。我国经济和文化还比较落后，年轻的社会主义制度还有许多不完善的地方，还不可能完全防止某些社会成员以及我们党的某些党员发生腐化变质的现象，不可能杜绝极少数剥削分子和各种敌对分子的产生。因此，我们必须作好长期斗争的精神准备，坚持人民民主专政国家的专政职能，坚持用马克思主义的阶级观点处理当前我国带有阶级斗争性质的社会矛盾和社会现象。这就是党中央在党的第十二次全国代表大会上宣布的关于我国现阶段阶级斗争问题的基本方针。

（《新闻工作手册》 新华出版社 1985. 8 p.19）

日訳 階級としての搾取階級が消滅した後、わが国の社会に存在する矛盾は大多数が階級闘争の性質をもつものではなく、階級闘争はすでにもうわが国社会の主要な矛盾ではなくなった。党の十一期六中全会の決議は「社会主義的改造が基本的に完了した後、わが国が解決しなければならない主要な矛盾は人民の日増しに増大する物質文化の需要と立ち遅れた社会生産の間の矛盾である」と指摘している。われわれは十分慎重に敵と味方の矛盾と人民内部の矛盾を区別し、階級闘争拡大化の誤りを再び犯すことを防ぎ、これによって社会の安定し、団結した政治的局面を守らなければならない。しかし、階級闘争はまだわが国社会の一定範囲内で長期に存在し続け、しかもある種の条件のもとでは激化する可能性もある。これは歴史的な搾取制度と搾取階級が諸方面に残した害毒が短時間ではすっかり除去することが不可能であるためばかりでなく、われわれの祖国の統一の大事業がまだ最終的に達成されていず、われわれがまだ複雑な国際環境のなかにあり、資本主義勢力およびわが国の社会主義事業を敵視する一部の勢力がまだわが国を蝕み、切り崩そうとするからでもある。わが国の経済と文化はまだ割りと立ち遅れていて、若い社会主義制度にはまだ多くの不完全なところもあって、一部の社会成員およびわれわれの党の一部の党員に腐敗変質現象を生むことを完全に防止することはまだ不可能であり、極めて少数の搾取分子とさまざまな敵対分子の発生を断つのも不可能である。それゆえ、われわれは長期に闘争していく精神的準備をしっかりと整え、人民民主独裁国家の独裁機能を堅持し、断固としてマルクス主義の階級観によって当面のわが国の階級闘争の性格を帯びた社会矛盾と社会現象を処理しなければならない。これこそが党の第十二回全国代

表大会で党中央が宣言したわが国の現段階の階級闘争問題についての基本方針である。

上記のように中国共産党は現在の中国社会を分析しているのである。

(4) 中国共産党の現段階の任務

中国共产党第十二次全国代表大会于1982年9月6日通过的《中国共产党章程》规定：“中国共产党在现阶段的总任务是：团结全国各族人民，自力更生，艰苦奋斗，逐步实现工业、农业、国防和科学技术现代化，把我国建设成为高度文明、高度民主的社会主义国家。”第十二次代表大会规定，从这次代表大会到下次代表大会的五年间，我们要根据上述总任务的要求，从当前实际出发，大力推进社会主义物质文明和精神文明的建设，继续健全社会主义民主和法制，认真整顿党的作风和组织，争取实现国家财政经济状况的根本好转，实现社会风气的根本好转，实现党风的根本好转。在这同时，我们要包括台湾同胞、港澳同胞和国外侨胞在内的全体爱国人民一道，努力促进祖国的统一大业。我们还要同全世界人民一道，继续为反对帝国主义、霸权主义和维护世界和平而斗争。在全面开创新局面的各项任务中，首要的任务是把社会主义现代化经济建设继续推向前进。从1981年到本世纪末的二十年，我国经济建设总的奋斗目标是，在不断提高经济效益的前提下，力争使全国工农业的年总产值翻两番，即由1980年的七千一百亿元增加到2000年的二万八千亿元左右。实现了这个目标，我国国民收入总额和主要工农业产品的产量将居于世界前列，整个国民经济的现代化过程将取得重大进展，城乡人民的收入将成倍增长，人民的物质文化生活可以达到小康水平。

（《新闻工作手册》 新华出版社 1985. 8 p. 7.8）

日訳 中国共産党第十二回全国代表大会が1982年9月6日に採択した「中国共産党規約」は「現段階における中国共産党の全般的任務は、全国の各民族人民を団結させ、自力更生によって、刻苦奮闘し、徐々に工業、農業、国防および科学技術の現代化を実現し、わが国を高度の文明、高度の民主を備えた社会主義国家に築き上げることである」と規定している。第十二回全国代表大会は次のように定めている。今回の代表大会から次回の代表大会ま

での五年間、われわれは上述の全般的任務の要求に基づき、当面の実際から出発して、大いに社会主義の物質文明と精神文明の建設を推進し、引き続き社会主義の民主と法秩序を健全にし、真剣に党の作風と組織を整頓し、国家財政の経済状況の根本的好転の実現、社会風潮の根本的好転の実現、党風の根本的好転の実現をかち取らなければならない。これと同時に、われわれは台湾同胞、香港・マカオ同胞および国外の華僑同胞を含む全愛国の人民とともに、祖国の統一の大事業を促すよう努めなければならない。われわれはさらに全世界人民とともに、引き続き帝国主義、覇権主義に反対し、世界平和を擁護するために闘わなければならない。全面的に新たな局面を切り開く諸任務のなかで、第一に重要な任務は社会主義の現代化された経済建設を引き続き前進させることである。1981年から今世紀末までの二十年、わが国の経済建設の全般的な奮闘目標は絶えず経済効果を高めるという前提のもとで、全国の工農業の年間総生産高を四倍にすること、すなわち1980年の七千百億元から2000年の二万八千億元前後にまで増やすことを目指すことである。この目標を実現すれば、わが国の国民総所得と主要な工農業製品の生産量は世界の一線に位置するようになり、国民経済全体の現代化の過程は大きな進展を遂げるであろうし、都市と農村の人民の収入は倍増し、人民の物質文化生活は小康の水準に到達することができる。

これまで読んできた引用文から明らかなように現在の中国を簡単に概括すれば、共産主義の社会制度実現を最終目標とする中国共産党が中華人民共和国という人民民主独裁の政体を通じて、その当面の政治目的である四つの現代化（工業、農業、国防および科学・技術）実現による中国の特色を備えた社会主義の強国を築き上げる途上にあるのである。中国の新聞を読むためには上述のような中国の現状を概要認識できるような知識がなければならない。なぜならば中国の新聞はいつの時代でも中国共産党の政策を反映するものであって、党からの遊離は許されないからである。

2 中国のマスコミ

現在の中国についての基礎知識を身につけた後に必要な作業は、中国のマスコミの全体像を把握することである。中国の新聞が中国共産党の